



よこはま プロバス通信

No35 2022年11月発行

<http://yokohamaiprobus.web.fc2.com/TR3.html>

ユーチューブチャンネル purobusyokohama

情報委員会・編集委員

発行所:事務局内
横浜市金沢区並木3-3-10-204
松下方 045-784-6549

久々に県下親睦交流会が鎌倉で開催

～鎌倉プロバスクラブ20周年を祝賀～



内山会長

10月28日(金)11時から鎌倉プロバスクラブ創立20周年記念祝賀会を兼ねて、県下プロバス倶楽部の親睦交流会が鎌倉プリンスホテルで開催されました。コロナ禍のため、2020年春の横須賀以来ほぼ3年ぶりの交流会となりお互いに旧交を温めました。古賀靖子全日本協議会会長が出席され祝辞を頂きました。

メインイベントとして、高名なギター奏者荘村清志氏の演奏や、イタリア、ミラノに留学したソプラノ歌手澤田エリザ氏(芋川美紀子会員)の独唱もあり盛会で楽しい会でした。

参加者は全日本プロバス協議会(2名)、鎌倉プロバスクラブ(16名)、我が横濱プロバス倶楽部からは内山会長以下14名(写真)、横須賀プロバス

クラブ(3名)、川崎西プロバスクラブ(3名)、横浜まろにえプロバスクラブ(7名)、横浜グリーンプロバスクラブ(3名)、東京多摩プロバスクラブ(5名)、東京八王子プロバスクラブ(5名)、以上59名で交流を深めました。

初参加の倉嶋康会員から「好天に恵まれ、湘南の青い海を眺めながらほかのクラブの方々との会食。席は右が横浜グリーンの市村茂夫さん。左が鎌倉の歌姫澤田エリザさん。恵まれた配席に話は弾み、好きなお酒を飲む暇もなく、焼酎一杯だけ。いつもと違う一人旅。片道2時間も楽しく、お土産の鳩サブレもうまかった。記念集会是欠かさず行くことにしよう」との感想がありました。



□待ちに待った同好会の報告□

BBQ大会: 7/13(水)朝早くから準備し10時から野島公園で開催、12人参加。5月には雨で中止されたが、今回は小雨ながら十分楽しめた。お酒も食材も豊富でたちまち2時半を過ぎお開き、全員無事帰宅しました。(樋口世話人)

ゴルフ: 9/5(月)秦野のチェックメイトCCで開催。参加者12人、天気にも恵まれ、素晴らしいコースで持田会員が優勝(新ペリア方式)

(加藤豊世話人)

ボウリング: 9/14(水)江の島ボーリングセンターで開催。持田世話人1人。

: 10/11(火)には2人で今後について相談。皆さんの参加を待っています。

(持田世話人)

パソコン: 9/28(火)県民センターで、三井講師以下5人参加。ラインの使い方などこれまでの復習を実施。

: 10/25(火)14時 渡辺新会員含め8人参加。YouTubeの三井講師講座で学習。渡辺氏もライン使用可能になりました。(関口世話人)

【7月例会】（第240回）

2022年7月8日（金）12時から横浜YBS南幸ビルで7月例会が開催された（24名参加）。内山新会長から、「間もなく80歳になります、何とか自力で生き延びてきました。またコロナがぶり返



神谷幹事

ていますが、負けずに楽しくやっていきましょう。」との挨拶があり、誕生月の副会員と東野会員に会長からお祝いが贈呈されました。

副会員挨拶「プロバスで22回目の誕生祝、82歳になりました」

東野会員挨拶「79歳になりゆっくりできる歳のはずだが、色々あって思い通りにならない。それでもこれもまた人生のひとつとっている」
* 6月の会務報告（理事会協議及び決定事項報告）

・7月から理事会は例会終了後開催する。但し、12月クリスマス会、1月新年会、6月総会、移動例会時は別途第3金曜日に開催する。

* 委員会報告・倉嶋康例会委員長（欠席）：特になし

・倉嶋伸会員委員長（欠席）；誕生祝については保谷副委員長が代行実施

・荻原情報委員長；20周年記念誌については、6月例会時に配布した。感想等あればお寄せください。また、本日プロバス通信第34号を発行配布した。

・関口副会長から。ホームページに新役員挨拶を掲載、未提出の役員は早急に提出されたい。

【今期副幹事、副委員長の紹介（関口副会長から）】

副幹事；加藤豊会員 副例会委員長；樋口会員 副会員委員長；保谷会員

副情報委員長；佐藤会員 副参遊会委員長；持田会員 会計監査（継続）；岩城会員

事務局・会計；松下会員

* 神谷幹事から；各副委員長、副幹事等は、正委員長等が欠席・不在時に代行する。

* 全日本プロバス協議会；（岩城全

日本理事・副会長就任予定）11月の八王子での全日本総会への協力要請が来ているので参加よろしく。

● 会員放談

テーマ「私の趣味」（グライダー操縦） 関口尚親会員



関口会員

1960年高校生の時にグライダー部に入って、80M上空からのパラシュート降下訓練など、厳しい訓練を受けた。大学では航空部のキャプテンになり、北日本グライダー選手権等を企画。社会人になってからも継続したいと思いい、モーターグライダー購入も検討し、免許取得（通常の航空機免許と同じ）に挑戦し、学科試験・実地試験とも合格。モーターグライダー購入から4年目の合格であった。

全国各地を飛行し、佐渡の金山では、旅行中の4人家族に「飛行機で来ている」と言ったら「凄い！お金持ちだね」と驚かれたことが印象に残っている。

（印象的なフライトを紹介）孫と飛行。厳しい旋回時に女性にしがみつ



かれたこと。

渋滞のいろは坂や中禅寺湖上空のフライト。富永会員がメンバーのゴルフ場（福島）への飛行。東京上空の夜間飛行など。

このように楽しい飛行人生を送ってきたが、免許更新テストもあり、最近引退した。

（質問への回答）・離陸と着陸では、着陸が難しい。・初めての機体購入は300万円+250万円。2号機は1,000万円。・恐いのは、ロストポジション（機体位置を見失うこと）。

【9月例会】（第241回）

2022年9月9日（金）12時から横浜YBS南幸ビルで9月例会が開催さ

れた（24名参加）。

内山会長から、「コロナの中ご出席いただき、ありがとうございます。ボケ防止のため、機会があれば出かけてください。本日も楽しくやっていきましょう。」との挨拶があった。

次に、ゲストの横浜山手RC小野彰会長から「入会した7年前、社会奉仕委員長を担当、今期会長に就任。昨年30周年となり、30代の若手も入会している。横濱プロバスを参考に「楽しくなければロータリーではない」をモットーに山手RCの発展に努めたい。」との挨拶があり、引き続き、櫻井富美男幹事から、「こちらの会員の豆生田さんが今年の3月と4月に山手RCに見え、そこで豆生田さんに弟子入りしました。12月のクリスマス会には、皆さん是非当会へお出で下さい。」との挨拶があった。

* 9月誕生の大久保会員、樋口会員、関口会員の3名に倉嶋伸会員委員長からお祝い贈呈。各会員からの挨拶（大久保会員）干支7回目の84歳になりました。家族のお祝いはなく、プロバスでのお祝い、有難く感じます。

（樋口会員）78歳、昨年も言いましたが、これほど長生きするとは思っていませんでした。来年もこのコメントを言えるようにしたいと思います。（関口会員）コロナで1週間別荘入居（入院）しまし

た。PCR陽性は当会では唯一ではないでしょうか？ 78歳になり、これで同年の先輩（風を吹かせる会員）にも追いつくことができました。

* 8月会務報告（理事会協議及び決定事項報告）

秋の移動例会について
本年度は「県下6プロバスクラブ親睦交流会」が10月に、「全日本プロバス協議会総会」が11月に、それぞれ開催されるので、今秋は見送りとし来春4月頃に開催することとする。山手RC等他クラブ行事参加時の会からの補助金について

会長等数人が代表して参加する場合補助することとし、希望者が参加する場合は補助対象外とする。

*各委員会報告（前月例会反省、予定報告）

*倉嶋康例会委員長；移動例会は1泊も含めて検討したい。

*荻原情報委員長；7月例会時に配布したプロバス通信第34号の修正版を配布。次号第35号は11月に発行。ホームページは関口副会長が引き続き作成しています。是非見て下さい。

*全日本プロバス協議会；11月の八王子での全日本総会への協力要請が来ているのでよろしく。岩城理事は全日本副会長に就任する予定です。

● 会員放談 倉嶋康会員は4Pに掲載

【10月例会】(第242回)

2022年10月14日（金）12時からYBS南幸ビル9Fで10月例会が開催された（出席者27名、ビジター1名）

まず内山会長から「本日は大勢のご出席、ありがとうございます。コロナも終わりのようですので、今後同好会活動も含め、当会の活動を活発にしていきたい」との挨拶があった。

冒頭、逝去1年になる中村元会長、青木元会長を偲んで全員で黙祷を実施。

次に、久々に入会予定のビジター渡辺昭男氏について荻原会員から「横浜市役所の先輩です。加藤武元会長の頃から入会を勧めてきましたが、諸事情で遅れ今回やっと入会に至りました。本日ご出席の皆さんでお知り合いの方も多く、新人とは思えない方ですがどうぞよろしくお願ひしたい」との紹介があった。

渡辺昭男氏の挨拶(写真) 75年間相模原におりましたが、この程横浜市旭区に転居しました。生まれは、中区三吉町で、市役所では青葉区長を務め大変皆様にはお世話になりました。改めてお礼申し上げます。今回、20周年記念誌を隅々まで拝見し、横濱プロバス倶楽部の素晴らしい活動に感銘いたしました。これからは、この会に参加し残された人生を有意義に過ごしたいと思っております。」

誕生月会員紹介（倉嶋伸会員委員長）

*10月誕生の内山会員、小西会員、持田会員及び前月欠席の佐藤会員4名に委員長から

お祝い贈呈。

（内山会員挨拶）80歳になった。席を譲られるようになり、あまりいい印象は受けない。一方、席を譲ろうとしたら断られた。無理に譲って立ったら、若者が私に座席を譲ってくれた。自分は、まだまだ若造であると思っている。

（小西会員）現在も当会で最年少です。山口百恵、森昌子、桜田淳子、この3人トリオと同年齢と言えば、若さ

がお分かりと思います。（64歳）

（持田会員）プロバスで8回目の誕生日を頂いた。1年が短くなったが、ゴルフ、ボウリング、さらに社交ダンスと色々やっていて、73歳になりましたが、鈴木会員のようにならなくても元気でいたいと思っている。

（佐藤会員）お祝いにお礼。

*9月理事会協議及び決定事項報告

・10/28（金）11時から県下プロバス親睦交流会に参加する。会場；鎌倉プリンスホテル（主催；鎌倉P C）

・11/24（木）全日本プロバス協議会総会 ホストクラブ；東京八王子P C

*各委員会報告（前月例会反省、予定報告）

*倉嶋康例会委員長；本日は会員35人中27人出席。例会時のマスク着用は今しばらく継続としたい。

*倉嶋伸会員委員長；特になし

*荻原情報委員長；会報次号第35号は11月に発行する。ホームページは関口副会長が引き続き作成しており、9月例会報告も掲載している。是非見て下さい。

*全日本プロバス協議会報告；（岩城理事）8月31日に代々木で新旧理事会開催。2021年、2022年の業務報告引継ぎがあった。岩城は副会長就任予定。11月の八王子での第10回全日本総会の準備を進めている。総会翌日の高尾山エクスカッションにも参加して頂きたい。鎌倉での県P C交流会も久しぶり。大勢で参加して盛り上げたい。

*同好会活動予定 パソコン勉強会；10/25（火）14時 県民センター709

ボウリング同好会；10/11（水）14時 江の島ボール・済ゴルフ同好会；11/21（月）太平洋C C 海山同好会；春まで休止

その他は休会中

● 会員放談 大久保会員

テーマ「私の趣味」（鎌倉彫）

平成14年（2002年）から始め、20年経過。当初新人13人であったが、3年で3人になり、その後2人が死去し私一人になった。

1作品に半年から1年かかる。かなり費用が掛かるが、時間もかかるので暇潰しにはなる。毎月2回、1回3時間、鎌倉彫会館に行って彫っている。自宅では失敗するのでしない。

作成経費、道具代など

仕上げの塗代（漆塗り）が高価で18000円程度する。道具はピンからキリまで色々だが、安くても1万8千円程

度する。今は材料のカツラ材が不足している。今は作品の発表会はない。作品は家族や孫にプレゼントしている。これからも当分続けていきたいと思っています。



鎌倉彫の詳細は、資料が配布されました。

20年間の作成成果（上記写真はその内の1点）

2022年9月9日 会員放談 倉嶋康会員

人生の因縁話；森山会員（入会推薦者、本日の放談推薦者）との付き合いの因縁。1998年の長野冬季オリンピックが次の2002年ソルトレーク五輪へあてた「地球環境メッセージ」を、私が自転車を使って2年がかりで米国へ届けました。自転車が地球温暖化防止に役立つことを知って帰国後長野市で自転車を無料で貸す市民運動を展開しました。これを視察にきた森山会員と知り合い、その後相模原へ夫婦で転居した時、森山さんに勧められて横濱プロバス倶楽部に入会したのです。自転車が皆さまとのご縁を結びました。

毎日新聞への入社と松川事件



さて、昭和24年（1949年）8月17日の、日本占領下で発生した松川事件は、下山事件などと共に米国の謀略（松本清張）とも言われた謎の事件でした。当時は朝鮮戦争の直前で、労働運動も激しくこれをつぶす謀略があったと言われたのです。

松川事件の被告20人は1審全員有罪、2審3人無罪で、17人が上告中に私は毎日新聞入社試験を受け2回落ちました。しかし新聞社のエレベーターで偶然会った女性社員から「肺結核の疑い」で不採用

*** 事務局報告**

- ・山手RCの最終例会に先日当会から6人参加した。中西会長から小野会長に交代した。
- ・各委員長には、改めて各委員長担当業務を確認してほしい(会員手帳、会則・運営マニュアルに記載あり)⇒内山会長から徹底する。



- ・10月28日(金)11時から鎌倉プリンスホテルで「県下6プロバスクラブ親睦交流会兼鎌倉PC20周年祝賀会」が開催される。鎌倉PC主催、会費1万円。当会の参加は内山会長以下14名参加。
- ・欠席者動向；業務多忙での欠席者以外は、体調不良の会員が多い。
- ・10月28日(金)11時から鎌倉プリンスホテルで「県下6プロバスクラブ親睦交流会兼鎌倉PC20周年祝賀会」が開催。鎌倉PC主催、会費1万円。当会の参加者内山会長以下14名。
- ・11月24日開催の全日本協議会総会(八王子)の参加者予定。岩城理事、内山会長以下16人参加。
- ・12月14日(水)18時 山手RCクリスマス会 ホテルニューグランド参加者：岩城理事、内山会長以下4名

になったことを聞き付け人事部に健康を証明するX線フィルムを持って行き即採用となりました。1955年、私は松川事件発生地の福島にある支局配属となり、下宿近くの銭湯で一緒になった2審無罪の斎藤千さんと親しくなり、松川事件を勉強することになりました。そして、この人から「+死刑被告の1人佐藤一のアリバイを発見できるかも」との情報を得ました。

「アリバイ」の追求と「これはモノになる！」

確認のため松川事件担当弁護人の一人、安田弁護士を突撃取材し、弁護士がトイレに行った間に、机上の事件関係書類を見ると「列車転覆共同謀議があったという時間に、佐藤被告は全く離れた労使団交の席にいた」という記載を発見したのです。その記録を「会社側は当局に提出したと言っている」という内容でした。


「団体交渉の記録(アリバイ証明)を探そう！」

それからは連日検察庁に張り込み、宮本彦仙検事正に取材、遂に佐藤被告のアリバイを立証する記録「諏訪メモ」を検察側が隠していることを突き止め、毎日新聞の特ダネ記事にしました。この記事が決め手となり、最高裁で被告17人は全員無罪となったのでした。

「ユネスコ記憶遺産」申請

この話を最近フェイスブックに連載した結果、あちこちの記事になり、本としてまとめられ、諏訪メモを「世界記憶遺産」として登録するよう全国的な運動が起きています。自分の90年を思い返せば、私があの時毎日本社のエレベーターに乗らなければ、また下宿に風呂があったら銭湯で斎藤元被告に会わなかったなど、人生は偶然が積み重ねられ、人との出会いが社会を動かして行くのだと痛感いたします。いま私は同年の元朝日新聞記者と米国公文書館に松川事件の記録を探しに行こうと話合っています。

編集後記 このところ 3年ぶりに開催され、この通信も内容豊富になっています。今回も森山会員、関口会員のご支援で会報発行ができました。改めて感謝いたします。(情報委員長 荻原信吾)



例会参加者も増加し当会の同好会活動も徐々に再開されつつあります。県下PC交流会も